

ミサゴ

Pandion haliaetus (Linnaeus)

タカ目・ミサゴ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

レッドデータブック第1版(2002年)の出版以降、繁殖ペア数が増加しているが、食物連鎖の頂点に位置する種であるため、生息条件の変化に弱く、存続基盤が脆弱である。

種の特徴

全長 58～60 cm、翼開長 147～169 cm でトビとほぼ同大である。飛行中は、翼が長く、尾が短く、下面は白っぽい。海岸、河川、湖沼、ダム湖とその周辺の山林に留鳥として生息し、海岸の岩、大径木、鉄塔等で営巣する。空中～水面に飛び込み、ボラやコイ等の水面近くの魚類を捕食する。

分布

全国に分布し繁殖する。本県でも、海岸、河川やダム湖、北潟湖や三方五湖で通年みられるが、確認されているペア数は40ペア程度、繁殖成功率は50%程度である。

生息を脅かす要因

本県では、アカマツの大径木の樹上で繁殖する例が多いが、松枯れに伴い営巣木が減少し、鉄塔等の人工物営巣も増えている。また、海岸付近の風力発電により営巣環境が失われ、バードストライクも確認されている等、生息・繁殖環境は悪化していると推察される。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会(1998)、福井県自然環境保全調査研究会(1999)、福井県(2002)、中村・中村(1995)、高野(2015)、五百沢ら(2000)

| 市町別 生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|-------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ |

ツミ

Accipiter gularis (Temminck & Schlegel)

タカ目・タカ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

繁殖期の目撃例は全県的に存在し、絶滅の危険度は少ないが、繁殖確認例は10例に満たない。

種の特徴

全長 27～30 cm、翼開長 52～63 cm、雌の方が大きい。国内で最も小形の森林性猛禽類で、雄の上面は暗青灰色、胸～脇は黄赤褐色、雌の上面は暗石板色、下面には横斑がある。林縁に止まり、ハトより小形の鳥類を待ち伏せして捕るが、コムリ類やネズミ類、昆虫類も食べる。

分布

九州以北に留鳥もしくは夏鳥として分布し、平野部～亜高山の林や市街地に生息する。本県では、里山～山地帯に生息し繁殖記録もあるが、見つけにくい種であるため記録は少ない。

生息を脅かす要因

本県で確認された営巣林の多くはスギの高木林であり、関東～東海地方で報告されているような市街地の孤立林で繁殖した事例はない。そのため、スギ林と多様な餌種を育む落葉広葉樹林が、モザイク状にある森林環境の保全が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会(1998)、福井県福祉環境部自然保護課編(2002)、大西・真木(2000)、高野(2015)、中村・中村(1995)、平野(2005)

| 市町別 生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|-------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ |

サシバ

Butastur indicus (Gmelin)

タカ目・タカ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

本県では、トビに次いで数多く繁殖している猛禽類であり絶滅の危険度は小さいが、生息条件は悪化している。また、全国の渡りの中継地における通過個体数調査では、国内の生息数は急激に減少している。

種の特徴

全長 47～51 cm、翼開長 103～115 cm で雌の方が大きい。体の上面は褐色、眉斑は白色、頬は灰色、喉は白くて中央に黒い縦線がある。下面は白く胸と腹に横斑がある。主に地上の小形哺乳類、両生・爬虫類、小鳥類、甲殻類、昆虫類を、探索待伏せして捕食する。

分布

夏鳥として九州～本州で繁殖し、9月末～10月初めには大群で南下する。本県では、里山～山地の森林に広く生息するが、農耕地がある山麓部に多い。

生息を脅かす要因

本種は農耕地と林がモザイク状にある環境を好むが、このような環境は生産性が低く、開発対象や耕作放棄地になることが多い。その結果、採餌環境が悪化し繁殖地として利用できなくなるため、人が適度に管理した里地里山環境の保全が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会(1998)、福井県(2002)、森岡ら(1995)、大西・真木(2000)、高野(2015)、中村・中村(1995)、東(2007)

| 市町別 生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|-------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |